

東京都市計画駐車場(中野第 3 号東中野駅前広場地下自転車駐車場)
の決定について【中野区決定】

1 概要

都営大江戸線及び J R 中央線東中野駅周辺の放置自転車の発生を防止するとともに、歩行者及び車両の安全性を確保し、併せて都市景観の向上を図るため、地下自転車駐車場を決定する。

2 理由書(案)

別紙 1-1 のとおり
補足資料(参考資料 1 のとおり)

3 都市計画の案について

別紙 1-2(計画書)、別紙 1-3(計画図) のとおり。

4 経緯及び今後のスケジュール

平成 24 年	8 月	都市計画審議会(都市計画原案報告)(8/1)
	9 月	区民説明会の開催(16 条公聴会)(9/5)
	10 月	東京都事前協議(10/10)
	10 月	都市計画案の公告・縦覧(17 条)(10/22~11/5) (縦覧者 1 名、意見書なし)
	11 月	都市計画審議会諮問(11/20)
	(下旬)	都市計画決定予定
	12 月(上旬)	事業認可申請
平成 25 年	2 月(上旬)	事業認可取得予定

《添付資料》

別紙 1-1 理由書

別紙 1-2 計画書

別紙 1-3 計画図

参考資料 1(「東中野駅前広場地下自転車駐車場整備計画」と「中野区自転車利用総合計画」)

参考資料 2(補足資料)

都市計画の案の理由書

1 種類・名称

東京都市計画駐車場 中野第3号東中野駅前広場地下自転車
駐車場

2 理由

中野区内の中東部に位置する東中野駅周辺地域は、中野区都市計画マスタープランにおいて、交通拠点に位置づけられており、区民の日常生活を支え地域交流の核となる、安全で安心な活力あるまちの実現を図ることとされている。

東中野駅周辺地域は、平成11年に放置自転車規制区域に指定したことにより、放置自転車台数が大幅に減少し、自転車の利用状況が変化してきている。

しかしながら、東中野駅自転車駐車場は、地下式であるため、高齢者や子供連れ利用者が敬遠する状況が見られる。また、東中野南自転車駐車場は住宅地にあり利用制約が多く、利用率が低くなっている。

このため、東中野駅周辺での自転車駐車場配置計画の見直しの検討が必要となっている。

また、東中野駅周辺では、環状6号線街路拡幅整備にあわせて自転車専用通行帯が整備されるなど、自転車利用の利便性が向上するなど、東中野周辺での一層の自転車駐車場対策が課題となっている。

本件は、都営大江戸線及びJR中央本線東中野駅周辺の放置自転車の発生を防止するとともに、歩行者及び車両の安全性を確保し、併せて都市景観の向上の実現に向けて、現在事業中の東中野駅前広場の地下を利用し、約0.04ヘクタールの東中野駅前広場地下自転車駐車場を決定しようとするものである。

東京都市計画駐車場の決定（中野区決定）

中野第3号東中野駅前広場地下自転車駐車場を次のように決定する。

種別	名称		位置	面積	構造・階層	備考
	番号	駐車場名				
駐車場	中野第3号	東中野駅前広場 地下自転車駐車場	東中野一丁目地内	約0.04ha	地下一層	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車台数（約220台） ・ 出入口 2箇所

「区域は、計画図表示の通り」

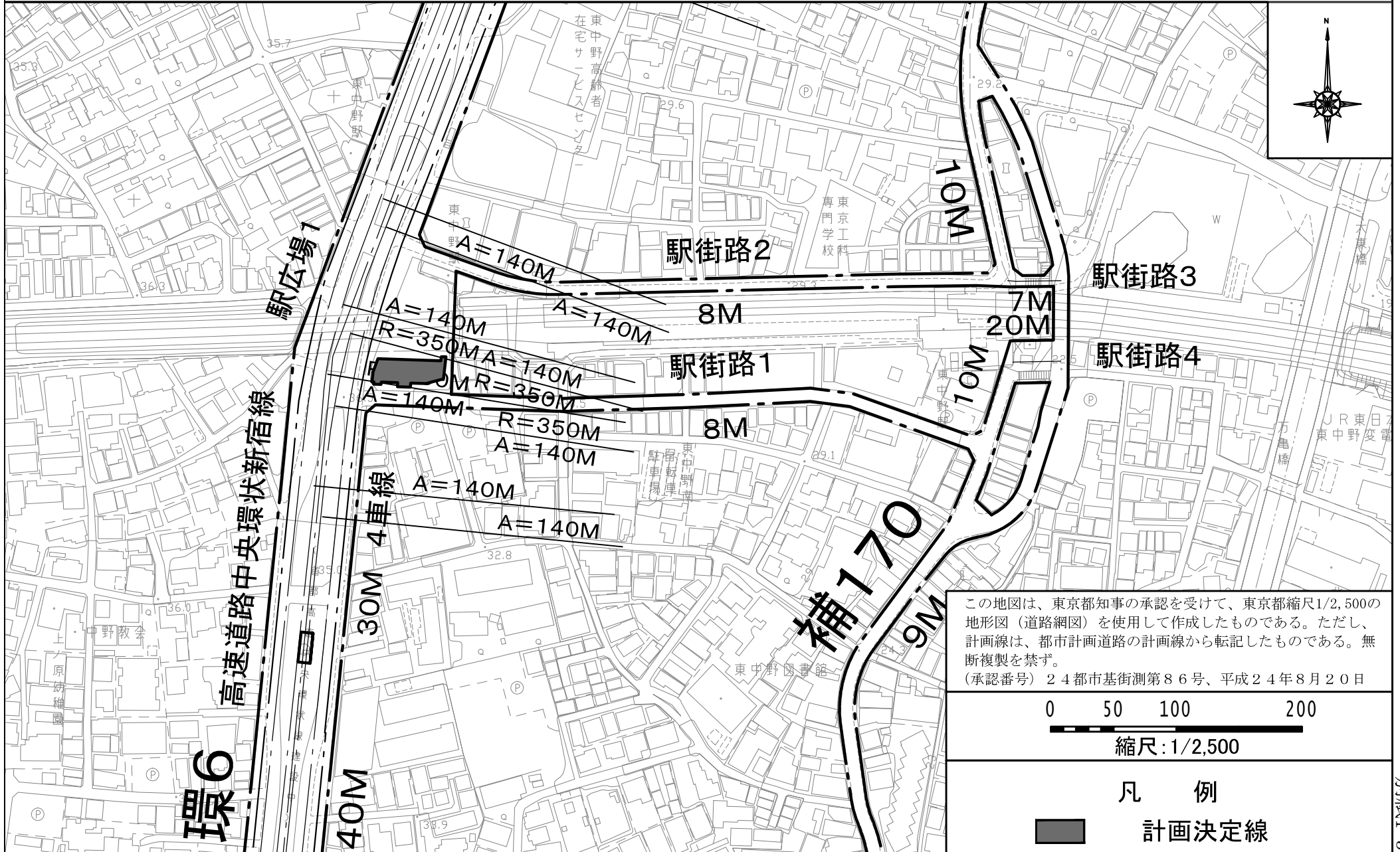
理由

都営大江戸線及びJR中央線東中野駅周辺の放置自転車の発生を防止するとともに、歩行者及び車両の安全性を確保し、併せて都市景観の向上を図るため、地下自転車駐車場を決定する。

東京都市計画駐車場

中野第3号東中野駅前広場地下自転車駐車場

計画図 [中野区決定]



「東中野駅前広場地下自転車駐車場整備計画」と「中野区自転車利用総合計画」の関連等について

中野区自転車利用総合計画（平成19～28年度）においては、区内の各駅ごとの乗降客数や自転車利用者数、及び既存の自転車駐車場の配置・利用状況等をもとに、今後の自転車駐車場の整備方針等を定めているところである。

現在、都市計画決定の手続きを進めている「東中野駅前広場地下自転車駐車場」の整備計画については、前述の各駅周辺における全体的な整備方針等を踏まえ、個別・具体的に整備計画を定めたものである。

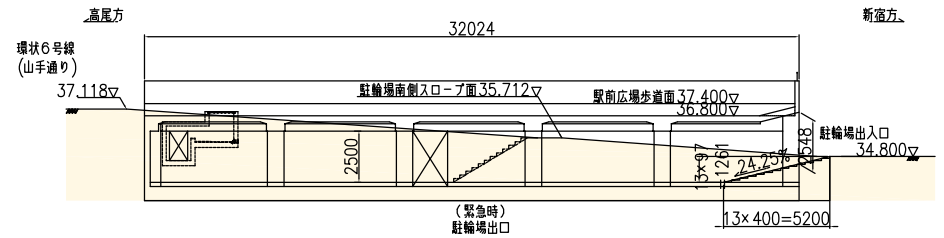
自転車利用総合計画については、来年度の改定に向け、中野区自転車等駐車対策協議会において検討を進めているところであり、今回の「東中野駅前広場地下自転車駐車場」を整備した後の状況についても、これを踏まえたうえで改定内容を作成していきたい。

東中野駅前広場 計画平面図



東中野駅付近広場第1号

断面A-A



地下駐輪場パース (参考)

